

# 2026年度 日本造園学会全国大会 で発表しました

開催場所：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス  
開催日：2026年5月16日～17日  
主催：（公社）日本造園学会

## 研究・事例発表会（口頭発表）

### 公園緑地の維持管理における三次元計測データの活用可能性 （森岡 千恵・田中 椋・小島 孝文）

公園緑地の維持管理においては、設計思想や維持管理方針が明確な形で情報共有されにくいいため、技術伝承の困難性が課題である。本研究では日本庭園を対象に三次元計測を行い、点群データと3Dガウシアン・スプラッシングを活用して景観構造を可視化した上で、維持管理および再整備への活用可能性を検討した。

#### 検討内容③ 高度な伝統技術の可視化・アーカイブ化

剪定やケープリング等の状況を  
360°の視点から可視化し、  
アーカイブ資料として活用



3DGS

全景



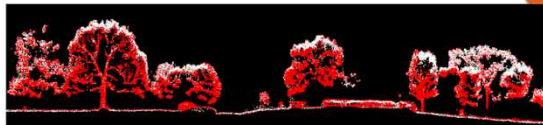
レーザーでは表現が難しい  
ワイヤーの線や枝先の様子が  
可視化できる

ケープリングの状況

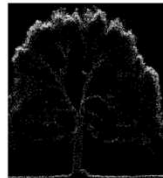


#### 検討内容② 季節変化や剪定への繊細な対応

三次元点群  
UAV LIDAR, LIDAR SLAM



三次元点群  
UAV LIDAR, LIDAR SLAM



UAV LIDAR  
樹冠上部のデータ



LIDAR SLAM  
樹冠下部のデータ



結合

